



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年8月3日

上場会社名 神鋼商事株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8075 URL <http://www.shinsho.co.jp>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森地 高文
 問合せ先責任者(役職名) 総務部長 (氏名) 大島 幸雄 (TEL) 03-5579-5201
 四半期報告書提出予定日 2022年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	140,939	23.7	3,437	65.0	4,009	72.3	3,105	72.9
2022年3月期第1四半期	113,944	—	2,083	267.7	2,326	228.1	1,796	—

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 5,320百万円(67.6%) 2022年3月期第1四半期 3,174百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	350.75	—
2022年3月期第1四半期	202.86	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	389,142	67,715	17.1
2022年3月期	364,029	63,753	17.3

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 66,525百万円 2022年3月期 62,938百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	85.00	—	160.00	245.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	120.00	—	120.00	240.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	277,000	23.6	5,300	29.7	6,000	31.5	4,500	16.6	508.28
通期	540,000	9.2	9,700	△3.5	10,600	9.0	7,000	△1.4	790.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注) 連結業績予想修正の詳細並びに個別業績予想につきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
 (注) 詳細は、添付資料P. 8 「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2023年3月期1Q	8,860,562株	2022年3月期	8,860,562株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	7,499株	2022年3月期	5,767株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2023年3月期1Q	8,853,456株	2022年3月期1Q	8,854,809株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3 「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報)	9
(追加情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2022年4月1日～2022年6月30日）における世界経済は、長期化している半導体供給不足や、エネルギー価格の上昇等が影響を及ぼす中で、ウクライナ情勢の深刻化や、米国経済のインフレ抑制に伴う金利上昇など、将来的な景気減速要因が見受けられます。

わが国経済においても、一部の業種に持ち直しの兆しはみられるものの、中国のゼロコロナ政策の影響によるサプライチェーンの混乱や、新型コロナウイルス感染症においても再拡大の動きとなっており、予断を許さない状況です。

このような環境の下、当社グループの第1四半期連結累計期間における売上高は1,409億39百万円（前年同四半期比23.7%増）、営業利益は34億37百万円（同65.0%増）、経常利益は40億9百万円（同72.3%増）となりました。特別利益として海外子会社の設備等の売却で固定資産売却益を4億11百万円計上したことなどにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は31億5百万円（同72.9%増）となりました。

事業セグメント別の主な営業状況は、以下のとおりです。

①鉄鋼セグメント

鋼板製品は、造船・建築分野の需要回復が見られたものの取扱量全体は微減となりました。一方、価格が上昇したため、大幅な増収増益となりました。

特殊鋼製品は、主力の自動車関連向けが、半導体不足等により自動車の生産台数は伸びず前年度を下回りましたが、価格が上昇したため、増収増益となりました。

これらにより、鉄鋼セグメントの売上高は540億94百万円（前年同四半期比19.9%増）となり、セグメント利益は16億80百万円（同40.6%増）となりました。

②鉄鋼原料セグメント

神戸製鋼向け主原料の取扱量の増加、原料価格の上昇により、増収増益となりました。

これらにより、鉄鋼原料セグメントの売上高は173億63百万円（前年同四半期比66.8%増）となり、セグメント利益は3億27百万円（同348.3%増）となりました。

③非鉄金属セグメント

中国におけるアルミコイルセンターや、新たに子会社化した半導体・イオン注入装置ユニットの製造会社での受注が好調で増益に寄与しました。

これらにより、非鉄金属セグメントの売上高は492億94百万円（前年同四半期比11.9%増）となり、セグメント利益は11億46百万円（同4.3%増）となりました。

④機械・情報セグメント

国内外で建設機械部品等の取扱量が増え、また連結子会社の販売が好調で増収増益となりました。

これらにより、機械・情報セグメントの売上高は136億29百万円（前年同四半期比38.4%増）となり、セグメント利益は3億15百万円（前年同四半期セグメント損失64百万円）となりました。

⑤溶材セグメント

国内の溶接材料価格上昇、連結子会社における前年度の事業譲受等が寄与し増収増益となりました。

これらにより、溶材セグメントの売上高は65億25百万円（前年同四半期比45.1%増）となり、セグメント利益は1億37百万円（同197.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は3,891億42百万円となり、前連結会計年度末比251億12百万円の増加となりました。これは主に、受取手形及び売掛金と商品及び製品の増加によるものです。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は3,214億27百万円となり、前連結会計年度末比211億50百万円増加となりました。これは主に、支払手形及び買掛金と短期借入金の増加によるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は677億15百万円となり、前連結会計年度末比39億62百万円の増加となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上と為替相場の円安に伴う為替換算調整勘定の増加によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年4月28日に公表した2023年3月期の第2四半期連結累計期間の連結業績予想及び個別業績予想を修正しました。詳細につきましては別途公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,398	13,272
受取手形及び売掛金	195,835	200,778
電子記録債権	18,281	21,778
商品及び製品	54,365	60,057
仕掛品	59	37
原材料及び貯蔵品	1,316	992
前払金	22,385	34,034
その他	9,913	9,990
貸倒引当金	△953	△976
流動資産合計	316,604	339,965
固定資産		
有形固定資産	7,884	8,138
無形固定資産	1,554	1,477
投資その他の資産		
投資有価証券	31,213	32,573
出資金	1,739	1,908
長期貸付金	1,586	1,750
退職給付に係る資産	5	5
繰延税金資産	1,778	1,707
その他	5,410	5,628
貸倒引当金	△3,747	△4,012
投資その他の資産合計	37,986	39,561
固定資産合計	47,425	49,176
資産合計	364,029	389,142
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	161,237	165,862
電子記録債務	14,381	13,002
短期借入金	49,962	54,457
未払法人税等	2,023	769
契約負債	9,386	10,123
賞与引当金	1,089	735
預り金	18,244	30,716
その他	22,996	22,995
流動負債合計	279,321	298,662
固定負債		
長期借入金	16,499	18,127
預り保証金	1,704	1,684
繰延税金負債	1,257	1,868
役員退職慰労引当金	13	13
退職給付に係る負債	658	675
債務保証損失引当金	110	123
その他	712	271
固定負債合計	20,955	22,764
負債合計	300,276	321,427

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,650	5,650
資本剰余金	2,608	2,608
利益剰余金	50,618	52,306
自己株式	△17	△21
株主資本合計	58,859	60,543
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,587	3,452
繰延ヘッジ損益	△287	151
為替換算調整勘定	779	2,377
その他の包括利益累計額合計	4,079	5,981
非支配株主持分	814	1,189
純資産合計	63,753	67,715
負債純資産合計	364,029	389,142

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	113,944	140,939
売上原価	106,027	131,388
売上総利益	7,916	9,551
販売費及び一般管理費	5,832	6,113
営業利益	2,083	3,437
営業外収益		
受取利息	34	43
受取配当金	321	374
為替差益	-	256
デリバティブ評価益	133	-
持分法による投資利益	190	538
雑収入	117	139
営業外収益合計	796	1,353
営業外費用		
支払利息	174	206
売掛債権譲渡損	136	233
為替差損	130	-
デリバティブ評価損	-	319
雑損失	112	21
営業外費用合計	553	781
経常利益	2,326	4,009
特別利益		
固定資産売却益	-	411
投資有価証券売却益	26	115
特別利益合計	26	527
特別損失		
投資有価証券評価損	13	-
特別損失合計	13	-
税金等調整前四半期純利益	2,339	4,536
法人税、住民税及び事業税	523	480
法人税等調整額	△242	655
法人税等合計	280	1,136
四半期純利益	2,059	3,400
非支配株主に帰属する四半期純利益	262	295
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,796	3,105

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	2,059	3,400
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△239	△142
繰延ヘッジ損益	269	438
為替換算調整勘定	1,027	1,345
持分法適用会社に対する持分相当額	57	278
その他の包括利益合計	1,115	1,919
四半期包括利益	3,174	5,320
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,831	5,007
非支配株主に係る四半期包括利益	342	313

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用の算定方法について、当社は原則的な方法によっております。一部の関係会社においては、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	鉄鋼	鉄鋼原料	非鉄金属	機械・情報	溶材	計			
売上高									
外部顧客への売上高	45,124	10,408	44,032	9,849	4,496	113,911	32	—	113,944
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	0	—	—	0	69	△69	—
計	45,124	10,408	44,032	9,849	4,496	113,911	101	△69	113,944
セグメント利益又は 損失(△)	1,195	73	1,098	△64	46	2,349	△22	—	2,326

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	鉄鋼	鉄鋼原料	非鉄金属	機械・情報	溶材	計			
売上高									
外部顧客への売上高	54,094	17,363	49,293	13,629	6,525	140,906	32	—	140,939
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	0	—	—	0	73	△73	—
計	54,094	17,363	49,294	13,629	6,525	140,906	106	△73	140,939
セグメント利益	1,680	327	1,146	315	137	3,607	402	—	4,009

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

(追加情報)

該当事項はありません。